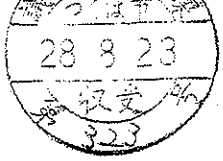
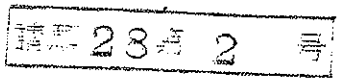
2016年8月23日

つくば市議会議長
塩田　尚　様





「研究学園地区およびTX沿線開発地域における集会施設が新設されるまでの間、
市庁舎の会議室を住民の集会場として使用できるようにすること」を求める請願書

【請願者】

住　所：　つくば市[redacted]
氏　名：[redacted]
連絡先：[redacted]

【紹介議員】

田中サトエ

【請願趣旨】

つくば市では「住んでみたい 住み続けたいまち つくば」を目指し、国の策定したまち・ひと・しごと創生に関する長期ビジョンや総合戦略を勘案しつつ、市の現状や課題を踏まえ、市の将来人口を展望し「つくば市人口ビジョン」が策定されています。それによると、「日本全体で人口減少の流れが加速する中、研究学園地区やTX沿線地区において子育て世代を中心に人口の流入が続いているなど、人口増加基調にある全国でも数少ない自治体の一つ」となっています。 また、TX沿線開発地域では、ここ数年、新築住宅の急激な増加に伴い、地域住民が新たに区会を設立するなど、新しい住民どうしによるコミュニティの形成が活発に行われております。

しかし、一方で、コミュニティ形成に必要な地域交流センターなどの集会施設の数が十分ではなく、整備が遅れている状況にあります。TX沿線開発地域、特に研究学園駅周辺の開発地域では、大規模な住宅地開発の影響もあり、50戸を超える会員数を持つ区会や100戸を超える組合員を抱えるマンション管理組合があり、区の集会や管理組合の総会などを行うのに大型の集会施設が必要になります。この地域の大型の集会施設は、現在は民間商業施設の「イーアス」の会議場しかありません。民間であることからいつまでも会議場があるという保証はなく、周辺住民のコミュニティ形成にとって、非常に不安定な状態にあります。

このような状況を鑑み、市としても住民が集い交流するための集会施設が必要であると認識し、今年度は、集会施設の位置付けや施設のあり方について調査検討していきたいと考えているようですが、集会施設が新設されるまでには、まだ相当の期間がかかると予想されます。

そこで、集会施設が新設されるまでの間、既存インフラの活用の観点から、市庁舎の会議室を住民の集会場として使用できるようにしていただきたいと考えております。

是非とも、TX沿線開発地域周辺の住民の現状をご理解いただき、下記請願事項の実現をお願いいたします。

【請願事項】

研究学園地区およびTX沿線開発地域における住民のコミュニティ形成に必要な集会施設が新設されるまでの間、市庁舎の会議室を住民の集会場として使用できるようにしていただきたい。